

各学年の大事にしている取り組み④4年生防災教育

令和時代の幕開けは、19号台風をはじめ災害が発生した年でもありました。四郷地区においても9月4日～5日にかけて、集中豪雨や雷が発生しました。東日野地区が冠水し、西日野地区通学路が土砂に埋もれ、学校施設も電話回線等に被害がでました。

4年生は、社会科において、学校内の防火設備の見学・確認、通学路点検、南消防署南分署員からの防火教室、地区・学校合同防災訓練（写真）参加、そして明日13日は四郷分団署（四郷地区市民センター西に移設）を見学し、川村分団長はじめ消防団の皆さんに再びお世話になる予定です。自分はこの日、出張のため同行できないのが残念ですが、これらの見学や訓練の積み重ねが、子どもたちに防災意識を身に着けさせていると実感しています。地域の皆様に改めて感謝申し上げます。



学校保健委員会

12月5日（木）5限目に、「第4回くろがねもち協議会」を兼ねた「学校保健委員会」が開催されました。今回のテーマは「ずっと健康でいるために（歯と口の健康を中心に）」です。自分の歯と一生付き合うために、6年生保健委員さんがプレゼン形式で、大変わかりやすく説明してくれました。「歯を強くするために何でもよく食べること」「コーラなどの清涼飲料水には多くの糖分が含まれていること」が印象に残りましたが、1日1回も歯を磨かない児童がいることが大変気になりました。本年度歯科健診の結果、「虫歯なし」と「処置完了者」が一番多かったのは6年生でした。しかし、6年生の7%が1日1回も歯を磨いていません。毎日歯磨きをしているのは1年生が最も多く、次いで4年生でした。ところが、毎日磨いている1・4年生に治療が必要な子が多いのは、虫歯の原因のプラーク（歯垢）を落とし切れていないのかもしれない。手入れがよくなると虫歯だけでなく歯槽膿漏になったり、歯並びが悪くなったりすることにつながります。お家の人のお手伝い（仕上げ磨き）や、歯医者さんで正しい磨き方を習うなどが必要なのかもしれません。



ちなみに、台風19号の被災者の多くが避難所生活時に歯磨きができないことに強いストレスを感じたとのことです。避難時に歯ブラシを持参するとよいと報道されていました。

マラソン記録会

12月3日（火）に1・4・6年生、6日（金）に2・3・5年生がそれぞれ運動場トラック5・7・9周完走に挑みました。全学年応援をしましたが、昨年度に比べ、走り方や応援マナーがよくなりました。何よりも一人一人が目的意識を持っていたことがよかったと思いました。寒い中、保護者の皆様のたくさんの応援ありがとうございました。子どもたちにとって大変励みになったと思います。



市内小・中学校勤務時間外における電話対応について

9月（月）配布しました市教育委員会文書のとおり、3学期からの災害時等の緊急対応を除いた電話対応時間設定（7：45～18：00）について、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。